

# Osaka Metro まちさんぽ

花園町駅

70分  
コース

四つ橋線 花園町駅

今宮と木津の境の花の園

津守新田跡の巨大紡績工場から木津村南端まで

かつての西成郡今宮村が大正14年(1925)に大阪市西成区に編入されて、その一部が花園町になりました。江戸時代、今宮村は麦や綿の栽培が盛んな農村で、西側に隣接する木津村も野菜栽培で知られ、両村の境界にあたる地帯は一面の花園だったのでしょ。



スタート駅	約 70 分									ゴール駅
花園町駅 四つ橋線 ②号出口	1 今宮村・木津村	2 鶴見橋商店街・鈴成座	3 鶴見橋跡 十三間堀川跡	4 西成公園・津守下水処理場 大日本紡績津守工場跡	5 津守下水処理場	6 津守神社	7 津守新田会所跡 (津守幼稚園)	8 敷津松之宮御旅所	9 の各通り・梅南座 梅・梅南・松・橋・桜・柳	花園町駅 四つ橋線

木津は、古代に四天王寺建立のために木材を荷揚げした港であったといわれています。そこに流れる川を木津川と呼び、そして木津村ができました。元禄の頃、木津川河口あたりに津守新田が開拓され、明治末になると木津川の水運を利用した紡績工場が建設されて、通勤路の商店街は大阪を代表する賑わいをみせました。

花園町駅  
70分  
コース

# Osaka Metro まちさんぽ

四つ橋線 花園町駅

今宮と木津の境の花の園

## 津守新田跡の巨大紡績工場から木津村南端まで

かつての西成郡今宮村が大正14年(1925)に大阪市西成区に編入されて、その一部が花園町になりました。江戸時代、今宮村は麦や綿の栽培が盛んな農村で、西側に隣接する木津村も野菜栽培で知られ、両村の境界にあたる地帯は一面の花園だったのでしょ。

スタート駅

約70分

ゴール駅

### 四つ橋線花園町駅②号出口

### 四つ橋線花園町駅

#### 1 今宮村・木津村

江戸時代、現在の国道26号線(御堂筋～和歌山市)の東側が今宮村、西側が木津村で、古代には海が迫り、漁民は朝廷に鮮魚を献上したといわれています。両村とも次第に内陸化して農村になりました。あたりの村々は畑場八ヶ村と呼ばれ、大阪市中への野菜供給地になり、今宮村は蕪・ひょうたん、木津村は瓜、大根、ほうれん草の産地として有名でした。

#### 2 鶴見橋商店街・鈴成座

津守新田の跡地、西成公園や下水処理場の場所に、明治42年(1909)に大日本紡績津守工場が創業して、鶴見橋商店街は工場で働く多くの人々の通勤路、社交場となり、戦前には天神橋、心斎橋、鶴見橋が「大阪3橋」と呼ばれるほど賑わいました。なにわ筋の交差点には鶴をモチーフにした信号機が設置されています。鈴成座は全国に知られた大衆演劇場で、格天井など趣向を凝らした内装です。



#### 3 十三間堀川跡・鶴見橋跡

十三間堀川は、元禄11年(1698)に津守新田の開発に伴って開削され、新大和川へ繋がれました。川幅が13間(約23m)ある農業用水路でしたが、堤防に松並木が立ち、明治初期には住吉詣でをする船路になりました。しかし現在では、昭和45年(1970)に阪神高速道路建設のため住之江区の一部を残して埋め立てられています。十三間堀川に大日本紡績が橋を架け、冬季には鶴が飛来し、地元の人々が鶴見橋と名づけたといわれています。



#### 4 大日本紡績津守工場跡(西成公園・津守下水処理場)

大日本紡績(現ユニチカ)津守工場は、明治42年(1909)に操業された国内最大級の紡績工場です。レンガ造り平屋建てで、最盛期は4,000人以上が従事し、工場内に住宅や小学校が付設されていました。大戦の空襲でほぼ全焼し、昭和27年(1952)に取り壊され、敷地は売却されて一部は津守下水処理場増設と貯水池になり、残りの敷地は、現在、西成公園と西成高校の用地になっています。



#### 5 津守下水処理場

昭和15年(1940)に通水した大阪府で最初の大規模下水処理場で、当時はニューヨークとシカゴに次いで世界第3位を誇りました。大阪市の中央部から西部にかけての雨水を排除し、工場や家庭の汚水を処理しています。約80年にわたって機能し続けていることから土木学会の「選奨土木遺産」に指定され、つつじの開花期は一般公開されています。



#### 6 津守神社

#### 7 津守新田会所跡(津守幼稚園)

津守神社は、津守新田の豊穰を祈願して創始された稲荷大明神で、明治になって津守神社と改称されました。津守新田は元禄11年(1698)に京都の金屋源兵衛と横井源左衛門が開拓しました。津守小学校・幼稚園の園庭が新田会所跡で、ここに向月庵というすばらしい庭園があったそうです。幼稚園玄関脇から新田会所跡碑が覗き見えます。



#### 8 敷津松之宮御旅所

大田町駅近くにある敷津松之宮神社の御旅所で、木津村の南端にあたります。同神社の由緒によれば、神功皇后が敷津浦での航海の安全を祈って松の木を3本植えたことから「松之宮」と呼ばれたそうです。このあたりまで海が迫っていたことがうかがえます。



#### 9 梅、梅南、松、橘、桜、柳の各通り・梅南座

今宮村・木津村の両村は、明治の町村制施行で今宮町に統合されましたが、大正時代に改編されたとき、大字に梅通・梅南通・松通・橘通・桜通・柳通という樹木の名称がつき、いまでも地区・通りの名称として残っています。梅南座は平成10年(1998)に鉄工所だった場所を改装して開館し、小規模な親しみやすい大衆演劇場になりました。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2023年11月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

#### ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

#### ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。



毎月第1金曜日発行

#### 駅スタンプ押印欄